

PFI(BTO方式)		鹿児島市新鴨池公園水泳プール整備・運営事業《鹿児島市(鹿児島県)》			
人口:約61万人					
<p>■ 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した鴨池公園水泳プール(屋外50m・屋内25m・飛込み)について、50m・飛込みプールの解体・再整備と、既存の25mプールも含めたプール全体の運営・維持管理を民間事業者が実施するPFI事業。 ・民間事業者の提案によりトレーニングスペースが整備された。 					
<p>■ 事業実施の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第四次鹿児島市総合計画で謳われている「安心して健やかに暮らせるまち[安心健康都市]」を目指し、「市民の健康・体力づくりを支援する」計画の実現のため、昭和47年の太陽国体開催に合わせて整備され、老朽化が進んでいた鴨池公園水泳プールの整備を行うことが検討された。 ・検討に当たっては、第四次鹿児島市総合計画を発展的に捉え、国際的な大会を含めた各種大会の開催が可能な規模とし、「市民の誰もがいつでも楽しく利用できる」「環境にやさしい」施設を基本方針として整備を行うことが基本構想・基本計画に定められた。 					
<p>■ PPP/PFI手法導入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設計・建設や設備内容、開業後の運営・維持管理面に民間活力を活用し、効率的・効果的な事業遂行を目指すべく、PFI手法の導入が検討された。 					
《事業データ》					
施設規模	敷地面積:12,456㎡、延床面積:約11,792㎡ 施設内容:屋内メインプール:50mプール(国際公認)／観客席(固定1,554席、車椅子24席、仮設500席スペース)、屋外飛込プール:(国際公認)、屋内サブプール(既存施設):25mプール・幼児プール				
事業方式	PFI(BTO方式)				
事業類型	混合型				
事業期間	平成20年3月～平成38年3月(約18年間) (設計・建設:約3年間／運営・維持管理:約15年間)				
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助申請、プール公認取得申請、既存の屋内サブプール棟の改修 <p>【民間事業者の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の屋内サブプール棟を除く施設の設計・建設 ・既存の屋内サブプール棟を含めた本施設の運営・維持管理 <p>〈業務分担のポイント〉</p> <p>既存の屋内サブプール棟の改修は決められた仕様での業務であり、民間事業者の業務としてもコスト削減は見込めないため、鹿児島市が事前に直接発注することとした。ただし、運営・維持管理については、施設全体で行う方が効率的であるため、改修後の既存の屋内サブプール棟も民間事業者の業務とした。</p>				
事業費	約73億円(税込、契約金額)				
VFM	特定事業選定時	約4.6～5.2%	事業者選定時	14.1%	
収益の公共への還元方法	民間事業者が利用料金を直接収受することによるサービス購入料の減額				
事業者 ◎は代表企業 ◆は地元企業	◎(株)九電工、(株)梓設計、(株)奥村組、(株)新生組◆、(株)菱熱、九州メンテナンス(株)、(株)南日本総合サービス◆、(株)セイカスポーツセンター◆、(株)富士ピー・エス 【協力企業】九州電力(株)、(株)東条設計◆、(株)福田組、(株)九電工ファシリティーズ鹿児島、ヤマハ発動機(株)				
応募グループ	3グループ				
スケジュール	平成17年5月	基本構想・基本計画策定			
	平成18年2月	基本構想・基本計画の見直し、PFI導入可能性調査報告書作成			

	平成18年11月	実施方針公表
	平成19年2月	特定事業の選定
	平成19年10月	入札公告
	平成20年1月	落札者決定
	平成20年3月	契約締結
	平成23年4月	供用開始
官民対話の実施内容	平成17年度 PFI導入可能性調査時:民間事業者等に市場調査を実施 平成19年12月 入札参加グループと意見交換会	
活用した制度等	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業整備費補助金(社会資本整備総合交付金) ・合併特例債 	
<p>■ PPP/PFI手法導入の効果</p> <p>● 光熱水費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の変動リスクを官民で分担したことで、民間事業者から光熱水費を抑えた計画が提案された。 <p>● 利便性の高い施設・設備の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内メインプールについて可動床の設置を要求水準としていたところ、民間事業者からは可動床を3分割にする提案があり、幅広い層の利用者ニーズに適した水深設定が可能となった。 ・民間事業者からの提案により、自由提案施設としてトレーニングスペースが設置され、水泳のみに留まらない多種多様な運動を行える施設となった。 <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加条件として、入札参加者のうち、設計、工事監理、建設、運営、維持管理業務を行う者の少なくとも1者は市内に本店を有する者という条件を付した。 ・その結果、市内企業を活用する体制が提案された。 		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div>		
(出所)鴨池公園水泳プール公表資料		
<p>■ 参考URL</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(鴨池公園水泳プールHP) http://www.seika-spc.co.jp/kamoike/ 		